

# 中学校日記

学校生活の1コマを学生の手作り(写真・文)でお届けします。



- # 生徒総会で提案する私
- # クラスみんなで授業態度を改善
- # 木山中の伝統、規律ある学校生活



kiyama\_chuugakkou

クラスの成長を促し、  
一人一人が「開花」する学級づくり



きやまくん

学級委員会はクラスをまとめ、課題を解決し、より良い学級づくりに努めています。しかし、「課題」と一言で言っても、その内容はクラスによって異なります。そこで、私たちは授業態度の改善を目指し、「授業態度クラスマッチ」を生徒総会で提案し、実施しました。これは、事前アンケートから設定した各クラスの授業態度に関する6つの課題(例えば、授業中に寝ないなど)の達成をクラス対抗で競うものです。クラスで団結して課題に取り組むことで、生徒一人一人の成長につながったと思います。次は合唱コンクールです。クラス一丸となって頑張ります。

私がお伝えします

木山中 学級委員会 副委員長  
やました  
山下ひとみさん(3年生)

## にじいろ通信

地域おこし協力隊がピックアップした、復興やまちづくり、記憶の継承などさまざまなトピックをご紹介します。



報告：小仲 貴宏

### ■自然災害との付き合い方

先日、まちづくりの先進地として、高知県黒潮町と四万十市を視察しました。

黒潮町は、南海トラフ地震によって最大34mの津波が到達すると予想されており、町は津波避難タワーの建設など、さまざまな対策を進めています。

また、同町にあるNPO法人砂浜美術館は、災害を過度に恐れず上手に向き合うために、「Tシャツアート展」などのプロジェクトを通じて、自然風景に対する新たな視点を提供し、自然と触れ合うための取り組みを数多く実施しています。

これらの取り組みはどれも新鮮で、私たちの地域づくりを進めるに当たって、大いに参考になるものばかりでした。



NPO法人砂浜美術館は「道の駅ピオスおがた」で活動しています



NPO法人砂浜美術館の塩崎さんとまちづくりについて情報交換をしました

### ■川とともに生きるまち

四万十市では、四万十川を中心にまちづくりが行われており、その一環として、川を舞台としたさまざまなアクティビティを体験できます。

今回の出張で、私たちはテナガエビ取りに挑戦！ その体験を通じて地域の食文化の歴史や、山から海までつながる自然環境など、多くを学ぶことができました。



テナガエビ取りで四万十川を体感

そのほか、いろんな活動を協力隊 Instagram で公開中！  
(@MASHIKI\_KYORYOKUTAI)  
チェックしてみてください！

